



**大垣市立墨俣保育園  
子育て支援センター**  
大垣市墨俣町上宿 483-1  
Tel 0584-62-5153

- ※月～金曜日の9時半～14時半まで開設しています。子育て支援センター内で自由に遊んでいただけます。
- ※おはなしな～に・・・毎週月曜日の10時～10時半頃、支援センターの職員が、絵本や紙芝居などを読み聞かせします。
- ※ちびっこ講座・・・毎月の予定を通信でお知らせします。ホームページでもご覧になれます。コロナ禍で「新しい生活様式」を守りながら、ちびっこ講座を行っています。講座の内容によっては定員制、予約制をしております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。
- ※お弁当、お菓子はご遠慮ください。水分補給は良いです。
- ※大垣市内の方に限らせていただいております。ご理解ご協力をお願いいたします。
- ※子育て相談や関連情報の提供をしています。電話または来園されての相談に対応します。子育て相談等は市外の方も電話での相談は受付します。ご利用ください。  
墨俣保育園 (0584) 62-5153



 **ちびっこ講座 8月の予定** 10:00～11:00

日	あそび	内容・持ち物など
4日(水)	赤ちゃん一緒に遊ぼう	わらべうた等で赤ちゃんといれあって遊びましょう。お母さんの手とお子さんの体がいれあう気持ちよさを感じさせてあげましょう。 支援センターの職員と一緒に楽しく遊びましょう。
19日(木)	親子スマイル遊び	毎月1回の墨俣児童館との合同企画です。親子の楽しいいれあひ遊びをします。場所は児童館です。定員制、予約制をとらせていただきます。希望される方は、児童館へ電話で予約をお願いします。
24日(火)～ 26日(木)	発育測定	この期間に来てくださったお子さんで、希望される方は発育測定を行います。希望される方は、職員に声をかけてください。26日(木)は保健センターの保健師さんが来てくださいます。ご相談したいことがあればこの日に来てください。
<8月のおはなしな～に> 10:00～ 2日(月) 23日(月) 30日(月)		

**9月の予定**

- 8日(水) ベビーマッサージ 定員制、予約制をとらせていただきます。
- 9・10・14・15日 絵の具で遊ぼう はらぺこあおむし足形アート
- 16日(木) 親子スマイル遊び 定員制、予約制をとらせていただきます。希望される方は、児童館へ電話で予約をお願いします。
- 21・22・24日 発育測定





## ～6. 7月はこんなことしたよ～



### 七夕飾りを作ろう

親子で七夕飾りを作りました。1週間の間で都合の良い日に来ていただいて制作を楽しんでいただきました。毎日少人数ずつ来ていただいたので、密を避けることが出来ました。ご協力ありがとうございました。これからもしばらくはこのような形で行っていきたいと思っています。ご参加お待ちしております。

### バランスボール

お母さんに抱っこされて一緒にバランスボールの体験をした子もいました。揺れが心地良かったのか抱かれて眠ってしまった子もいました。お母さんも少しの時間リラックスして頂くことが出来ました。

### ベビーマッサージ

♪○○ちゃん○○ちゃん○○ちゃんのお腹・・・♪と自分のお子さんの名前を呼びながらマッサージをしました。お母さんの手の暖かさを感じながら気持ちよさそうに受けていました。



## 子どもの好き嫌い対策3つのポイント！



—墨俣保健センターからのお知らせ—

### 苦手な野菜は、あせらず楽しく、子どもと一緒に達成感を！

好き嫌いをなくしたいと思う親心から、嫌がる食べ物を食べさせようとしたり、「食べないとおやつあげないよ」などと罰を与えたいすることは、食べ物と嫌な気持ちや体験が結びついて記憶されてしまうため、逆効果。それが原因で、さらに野菜嫌いになるばかりか、「食」への興味が薄れてしまうこともあります。それよりも、親子で楽しく食卓を囲むこと、また、「美味しいね」という会話や、野菜を美味しそうに食べている親の姿を見せるほうが、苦手な野菜を食べる環境としてオススメです。

**ポイント1:嫌いな子どもには「無理なく」「少しずつ」** 食べ物が好きになる条件のひとつに、「繰り返して食べ慣れる」ということがあります。最初はほんのひと口でも、嫌いだった野菜を食べられるようになったら、思いっきりほめて、自信をつけながら味に慣れさせていくことがポイントです。

**ポイント2:嬉しい気持ちや喜びから、食べ物が好きになることも** もうひとつのポイントが、食べる時の「わくわく感」や「嬉しい気持ち」。見た目を可愛らしく仕上げることで「食べてみよう」という気持ちを起こさせるほか、親も一緒に美味しく食べる食卓の雰囲気づくりなど、野菜を食べることと嬉しい体験がつながると、野菜をポジティブに感じられるようになります。

**ポイント3:味付けや調理の工夫で、野菜のクセを和らげる** 野菜が持つ独特のクセや食感を和らげる工夫が、野菜嫌いをなくすきっかけになるかもしれません。子どもの好きなトマトケチャップやマヨネーズの力を借りたり、調理の際に子どもが食べやすい大きさ・固さに整えながら、野菜を上手にメニューに取り入れていきましょう。

